



福岡市動植物園 センターゾーンエントランス 複合施設

— 螺旋階段状に配置された
PC梁により創られる夢の入口 —



▲ 吊り構造屋根



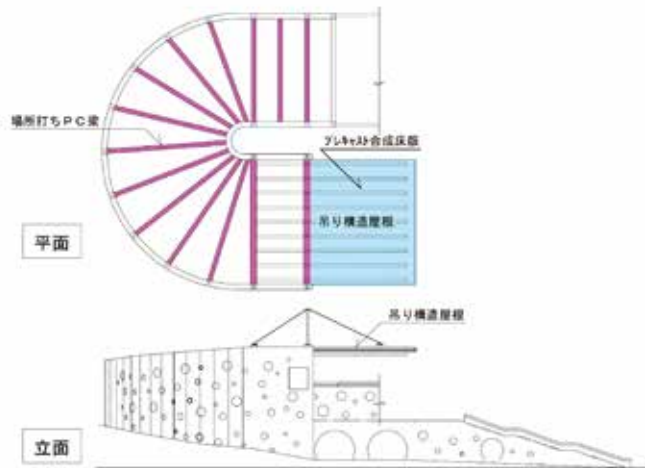
▲ 回廊外景と屋外広場

福岡市中央区南公園内に位置する福岡市動植物園は、動物園が1953年（昭和28年）に、植物園が1980年（昭和55年）に開園し現在に至っています。市内中心部に位置し、豊かな自然に恵まれたこの施設はその間、福岡市民を中心に多くの人々に親しまれてきました。しかしながら決して広くない敷地に建てられ、開園より50年以上経過した施設は、さまざまな問題を抱えています。①施設の老朽化 ②園路に坂道が多い ③駐車場の不足 ④サービス機能が不十分 ⑤動物の保護・繁殖体制が不十分。これらの問題を解決すべく福岡市は、再生に関する3つの基本構想（①

Enjoyment:驚き、楽しみ、学び、活動できる動植物園。②Originality:動物と植物が一体となった空間づくりと運営。③Locality:福岡市の地域性や公園の敷地特性を活かしたテーマ設定）のもと、2008年（平成18年）より20年計画でリニューアル事業に取り組み事となりました。かくいう筆者も同市に在住しており、子どもが小さい頃には数回、リニューアル前の同施設を利用させていただきました。その頃を思い出すと、「あそこは、駐車場が少ないけん早よ出かけん」とか「坂道ばかりで疲れたね」などと家族と話していた記憶がよみがえります。そういった利用者の不便さを解消するために計画された『福岡市動植物園再生事業』は、2年間の基本・実施計



▲ 回廊屋根部に螺旋階段状に配置された場所打ち PC 梁



▲ PC 部材配置図



▲ 場所打ち PC 梁の施工



▲ プレキャスト合成床版の取付

画を経て第1期整備（平成18年～平成31年）と第2期整備（令和元年～令和7年）に分けて進められ、現在も整備が続いています。そして、今回ご紹介する「センターゾーンエントランス複合施設」は第1期整備事業の中で最も象徴的な施設であると言えます。今まで急峻な敷地の最下部に位置していた同施設入場口を緩やかな階段を登った地上約5mの部分まで引き上げること、坂道のイメージが軽減されました。そして、その下を駐車場として利用することが可能となり、リニューアル前と比べ倍以上の駐車台数を確保できるようになりました。また、コンクリート打放し仕上げでデザインされ、円い開口や窓が特徴の同施設は、総合案内所、動物情報館、売店、レストラン等を兼ね備えた上で、周囲の自然とも見事に融合した建物となっています。そして、このエントランス複合施設の特徴は、基本構想①

Enjoyment（驚き、楽しみ、学び）を、最初に感じることができると建物だということ、です。アプローチ階段を登り、まづ目に入るのが約12m跳ね出した吊り構造の屋根部分です。実はこちらにはプレキャスト合成床版が採用されており、これから入る複合施設へのアプローチとして来場者の気持ち自然と盛り上がる空間になっています。そして入口の扉をくぐり施設内に入ると、総合案内所の先には点在する円形窓から光が差し込む回廊のような空間が広がっています。このエリアが動物情報館となっております。通路の左右には動物に関する展示やさまざまなイベント、ワークショップなどが開催され、正に来場した子ども達も驚き、楽しみ、学ぶ空間となっています。また、この回廊のような空間はエントランス入口部の階高が一番高く、通路を進むにつれて段々と天井が低くなるよう設計されており、それに従って通路も少

しずつ暗くなっています。そして回廊をUターンするとその先には、明るく開放的な屋外広場が出現するのです。これには、今から動物達と出会う来場者のワクワク感を盛り上げる演出が隠されています。この演出の一翼を担っているのが回廊屋根部分に螺旋階段状に配置された場所打ちプレストレストコンクリート造（以下PC）梁です。狭い敷地に建つ複合施設には、構造断面をより小さくすることが要求され、屋上には緑化のため的人工土壌が載る計画となっていたため、たわみに強く、梁せいも小さくすることができ場所打ちPC梁が採用され、一見梁がないように見える螺旋階段状の天井を構成しています。福岡にお寄りの際は、このエントランス複合施設（夢の入口）を通り童心に帰ってみてはいかがでしょう。大人でも十分楽しめる施設に生まれ変わっています。（オリエンタル白石㈱ 眞砂宗也）

■ 建築概要

| | |
|--------|------------------------------|
| 建築名称 | 福岡市動植物園センターゾーン エントランス複合施設 |
| 建築地 | 福岡県福岡市中央区南公園 1-1 |
| 建築主 | 福岡市 |
| 設計監理 | ㈱ブラック研究所、㈱和田設計 |
| 施工 | アスミオ・アルシス・九州建設JV |
| PC施工 | オリエンタル白石㈱ |
| 工期 | 2016年9月～2018年7月 |
| 階数 | 地下1階、地上2階建 |
| 建築面積 | 3,737.73㎡ |
| 延床面積 | 5,513.25㎡ |
| 構造種別 | 場所打ちRC造（一部PC造）+SRC造 |
| PC使用箇所 | PC梁・PCa合成床版（RC部材） |